

# 2021-2024年度 中期経営計画

新たに開始した中期経営計画のテーマは「持続的成長を実現する体質への転換」とし、2030年のありたい姿として描いた「2030ビジョン」や、その先にある「めざす姿」に向かって事業活動を進めていきます。

## 2021-2024年度 中期経営計画 グループ経営方針

### めざす姿 2030ビジョン

2021-2024年度 中期経営計画テーマ

## 持続的成長を実現する体質への転換

### 利益体質の強化と新たな食生活創造

海外を成長ドライバーとし、国内は市場担当制の導入でお客様のニーズに対応する

重点領域	海外エリア	重点指標
サラダ(調味料を含む)とタマゴ	中国、東南アジアを中核に 北米を強化する	ROE 8%以上 営業利益率 7.5% 海外売上高伸長率 年率10%以上

### 社会・地球環境への取り組みを強化

#### 重点的な取り組み

- 健康寿命延伸への貢献と子どもの心と体の健康支援
- 資源の有効活用と循環型経済の実現
- 気候変動への対応

### 多様な人材が活躍できる仕組みづくり

#### 重点的な取り組み

- グループ人材の流動化を促進
- 部門外の取り組みへの参画機会の拡大
- 学びの場を拡充

## 2021-2024年度 中期経営計画 経営指標

	2020年度実績(遡及後)	2024年度目標	各指標の意図
ROE(自己資本利益率)	4.8%	8%以上	中長期視点で資本効率の向上を図る
営業利益率	6.5%	7.5%	海外と国内の展開で収益性の向上を図る
海外売上高伸長率(現地通貨ベース)	(前年度比) +3.8%	(年率)10%以上	中国・東南アジア+北米で成長を実現する

※ 2020年度実績は、物流事業を除いた遡及適用後の数値を記載しています。  
※ 海外売上高伸長率は北米タマゴ事業の業績を含んでいません。

## キャッシュ・フローの配分

「持続的成長を実現する体質への転換」の取り組みにより、4年間の累計営業キャッシュ・フローは1,400億円を計画しています。

前中期経営計画よりも設備投資比率を下げ約700億円とし、重点領域に適切に配分します。

株主還元については、配当金を最優先とします。新中期経営計画では、配当金45円以上を基準として、4年間累計の総還元性向50%以上を目標にします。

内部留保については、財務体質の強化を図りながら将来の事業展開に備えるため、自己資本比率60%以上を目安とします。

### 2021-2024年度 累計営業キャッシュ・フロー

1,400億円

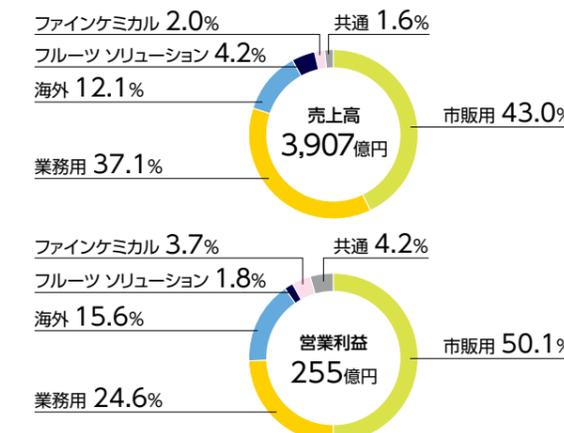
設備投資	株主還元	新規展開
約700億円の設備投資	4年間累計の総還元性向50%以上	新規事業、M&Aに対する投資は案件に応じて検討
<b>主な内容</b> ● 最適生産体制の構築 ● 海外での成長投資 ● IT・デジタル化の推進 ● 環境対応投資	● 配当金(配当性向35%以上) 2020年度40円 2021年度45円(予定) ● 自己株取得100億円+資金需要の変動に応じて適宜検討	<b>内部留保</b> 自己資本比率 財務体質の強化を図りながら将来の事業展開に備えるため60%以上を目安

## セグメントの概要

市販用	マヨネーズやドレッシング、パスタソース、育児食や介護食、パッケージサラダや惣菜など、家庭でご使用いただく幅広い商品を製造し、スーパーマーケットやドラッグストア、ECサイトなどを通じて販売しています。ライフスタイルの変化によって多様化するニーズにお応えしながら、お客様の健康的で豊かな食生活の実現に貢献していきます。
業務用	レストランやホテル、ベーカリー、デリカ、コンビニエンスストアなどの様々な商品の原料として使用される、液卵、凍結卵、食酢などの素材から、調味料、調理ソース、オムレツ、たまごサラダなどの加工品まで、幅広い業務用商品を製造・販売しています。プロ仕様の商品やメニューの開発、ソリューション提案などで、お客様とともに新しい食シーンや食のトレンドを創出していきます。
海外	中国、東南アジア、北米、欧州において、マヨネーズやドレッシングなどの調味料を中心に製造・販売しています。日本で培った品質やメニュー提案力を活かして、各エリアでの新しい食文化の創出とその定着を図りながら、世界の食と健康に貢献するグループをめざしていきます。
フルーツソリューション	家庭でご使用いただくジャムやスプレッド、食品メーカー向けのフルーツ加工品などを製造・販売しています。事業の礎であるオレンジマレードの製造を通じて磨いてきた原料調達力、フルーツ加工技術、おいしさを長持ちさせる技術をさらに発展させ、より一層フルーツを楽しんでいただけるような提案をしていきます。
ファインケミカル	ユニークな素材や技術を活用し、ヒアルロン酸や卵黄レシチンなどを、医薬品、化粧品、食品などの原料として製造・販売しています。また、それらの素材を自社の栄養補助食品やスキンケア商品へも展開しており、さらなる付加価値の創出に挑戦していきます。
共通	食品製造機械の販売やグループ各社の経理や労務、障がい者雇用の推進などの業務を行っている会社から構成されています。



### 2020年度 売上高・営業利益の構成比



※ 営業利益構成比は、全社費用61億円を除いて表記しています。  
※ 物流事業を除いた遡及適用後の数値を記載しています。